

同窓会総会 議事速報

「議案書」と併せてお読みください

日時：2018年10月21日（日） 14時～16時

場所：桜修館中等教育学校 「多目的ホール」

宮坂充宜君（16期）の司会で開会。

宍戸理事長（13期）の挨拶に引き続き、今年4月に着任された桜修館中等教育学校・鳥屋尾史郎（とやおしろう）先生の来賓あいさつがあった。

＜鳥屋尾先生の挨拶概要＞着任して生徒たちと面談し、クラスマッチ、記念祭を経験して、生徒たちが自主的に運営していることに感銘を受けた。校名が変わって中等教育学校になったが、この場所にあって連綿として受け継がれてきたもの、積み上げてきたものの中に今の教育活動があるのだと強く感じている。

桜修館の現役性は、弓道部が国体で優勝、科学グランプリで金賞受賞など活躍している。

同窓会の活動で現役生も力が湧いてくると思う。同窓会のますますの活躍に期待する。

続いて理事長から委嘱された宮坂議長を選出して議事に入った。

（以下、敬称略、初出時のみ、卒業期を記述します）

議題1 活動報告

（補足事項のみ記載）

③「八雲が丘ホームカミングデー」

第1回～第3回は、都大附高卒業50年、25年の同窓生と、桜修館1期～3期生を招いていたが、桜修館卒業生は卒業10年で参加にしたいと桜修館同窓会から提案があり、当面、桜修館卒業生の参加なしで開催を予定。

④ 八雲が丘学友会

旧制府立高、都大附高、桜修館の3校同窓会の連合体だが、旧制府立同窓会は活動を停止しており、会合への参加も厳しくなっている。都大附高同窓会が中心になって進めて行く必要がある。

⑤ 記念祭への出展

寮歌、記念祭歌などを歌うイベントは、旧制府立卒業生が中心のイベントだったが、今年は旧制からの参加は3名。今後は都立大附属同窓会が中心になって継承する必要がある

質疑応答

Q：八雲が丘賞の受賞は文化部だけが受賞しているが、運動部は選考対象外なのか。選考基準を明らかにしてほしい。

A:地道に活動し成果を上げているクラブを表彰している。結果的にこういう形になっている。今後、運動部が受賞対象になるかも知れない。

(八雲が丘賞の規定に関しては、<http://www.yagumokai.org/event/yakumogaoka.html>の後半部分を参照してください)

Q:寮歌がDVD化されているとのことだが、コピーが可能か。

A:二種類ある。閉校になるときに同窓会がDVDを作成した。会報誌上で人気投票して上位10曲+1曲を選び、音知を中心に同窓生が集まり、録音した。1500円で販売している。現在、30枚程度残っている。

それとは別に、収録されている府立高校の名歌、10曲の譜面(デジタルの楽譜)を興した。その中には、府立の代表歌と言われる曲が含まれている。

また、別に旧制府立高OBが作成したCDがある。

旧制府立高校同窓会は開校50周年、60周年、70周年を開催している。70周年祭は八王子大沢キャンパスでファイヤーストームを実施した。その中から「一土会」という定期的に歌を歌う会がうまれて、そのメンバーが歌った歌を収録したものがそのCD。太鼓によるもので伴奏はない。

議題2 会費納入状況と同窓会の財政状況

都大附高の閉校までは、卒業生の3年間の積立金と同窓会の収入だったが、閉校と同時にこれがなくなったため2011年度から会費制に移行した。当初の繰越金は728万円強。当初の会費は終身会費30,000円と3年会費5,000円の二本立てで、2015年度から年会費2,000円一本となった。2017年度末の残高は1140万円余である。

各年度の納入会費と納入人数は<別表1>の通り。

一方、年度の収支は<別表2>のように、収入はほとんどが会費収入で200万円~230万円ほど、支出は会報費が多くを占めるが、合計で230万円~250万円。赤字幅は圧縮されつつあるが依然赤字基調である。

(補足事項)

会費制に移る前の卒業生の積立金収入では同窓会運営には足りないのでは、728万円の残高のうち、かなりの部分が寄附によるのではないかとと思われる。

現在、年間200万円強の会費収入があるが、同窓会の活動を活発にするには増収が必要であると考えており、近い目標1,300名、260万円、次の目標1,500名、300万円と考えている。

議題3:

(補足事項のみ記載)

1.「八雲が丘ホームカミングデー」

今年度は多目的ホールで実施する。ケイタリング・サービスを手配する予定。

3. 課外授業「ようこそ先輩（仮称）」の実施

桜修館の学校行事が数多く、日程に組み込むことがなかなか難しい。

4. 記念祭への参加、出展

現役生を巻き込みたいが、現役生が記念祭中に自分たちの出展などの活動が忙しくて中々進まない。同窓会ルームに訪れた現役生とは年表などを題材に話す機会を作っているが、組織的な動きにはつながっていない。

5. 名簿の整理

1～20期の世代の方々には印刷された名簿の作成を期待されていると思われるが、現在の個人情報取り扱いに関する状況を考えるとほとんど不可能である。

6. 旧制以来の歌の継承・保存

旧制府立高校の同窓生で学生歌・寮歌を歌う「一土会」がある。毎月第一土曜日に集まることから、一土会と名付けられたが、年々参加者が減り、近年は毎月が年4回に減り、直近では半年に変更されている。都高同窓会からは、宍戸、須田、根岸、石川が参加した。旧制から新制メンバーへの継承を強く求められている。

7. 新たな事業の創出

意見表明・質疑応答

(1) 旧制以来の歌の継承・保存に音知メンバーの助力を得られないか(中土井 21 期)。

(2) ・課外事業に関して全校生対象の学校行事の中に組み込むのが難しいとのことであるが、私が神奈川県立の高校の依頼で講演を実施した際の取り組みが参考になるのではないか。高校1年生を対象に研究の進め方を話して、2年生以降は興味をもった分野に小分けにして3年計画で実施した(佐藤:18期)。

・過去に桜修館からの依頼でキャリア教育に関する講演を実施したことがある。卒業生を含むいろんな職業をやっている人10ぐらいで実施した。これと同期を取ればよいのではないか(瀧野:30期)。

・PTAが主導で実施している「学びフォーラム」(職業に対する心構え)のことと思われる。近年は縮小されたのか、同窓会に講師派遣の要請が来なくなった(宍戸)。

・職場体験で中学生が幼稚園に来る。それに近いと考えた(宮坂)。

(3) ・議案1②「名簿の管理」において名簿の取り扱いが難しくなったが、議案3の5項「名簿の整理」では、クラス会、クラブOBOG会などで活用できるとある(舟橋:7期)。

・「同窓会公認」と書かれているところがポイント。クラス会、同期会は同窓会の公認行事に含まれる(宍戸)。

・16期はホームカミングデーの後、名簿を借りてクラス会、同期会を実施した。一方、(同窓会名簿を利用したと思われる)都立大附属高校の後輩から電話があり、相場の勧誘をされたことがあり、名簿の管理は重要である(宮坂)。

(4) ・寮歌の引き継ぎは、音智OBOG、現役のサークルを入れて伝統を引き継ぐ取り組みが良い(山内:18期)。

- (5) ・私の大学では校章を入れたグッズ販売を行って収益を上げている。また、寄附を募っている。一口千円。結構、寄附する人が多い。礼状を送付している(斉藤:18期)。
・アメリカでは寄附を受けたら広報する(宮坂)。
- (6) ・伝統精神を引き継ぐことに古い写真などを含めても良いのではないか(瀧野)。
・都高新聞を PDF 化して、事務局に渡した (岩田:8期)
総会終了後に 10/24 に、<http://www.yagumokai.org/member/library.html> に公開しました。
・黒潮会は書類、写真はホームページで管理している (藤谷:16期)。
<http://www.kuroshiokai.net/index.html>
・ホームページの活用を考えている。サークルの活動の連携として、音知、黒潮会、バードウォッチングなどの候補が考えられる。ホームページからリンクを貼り、まずは緩い連携が構築ところから始めたい(佐々木:15期)。
- (7) ・社会貢献に取り組まないか。自分はあかね会という精神障害に対する貢献の取り組みをしている。同窓生にはその道に究めた人がいるので、力になると考える(中土井:21期)。
- (8) ・私は毛色が変わったことを提案したい。現役とのかかわり、自分は在学中に生物班に在籍していた。先日の記念祭で科学部の展示を訪れた際に生徒や顧問の先生と話をし、生き物や資料を提供することにした。また、写真部にはフィルム式のカメラを提供した。このように現役生が欲しい物を提供するなど、チャンネル、ホームページを活用して同窓会が斡旋して貰うといい(川田:14期)。
- (10) ・八雲が丘文庫の再建を考えたい。頓挫した理由は、同窓生の一人が断捨離の一環として自分の書棚にある書籍を段ボールで何箱も宅急便で送付されたため。八雲が丘文庫は、桜修館開校当時の笹のぶえ副校長の提案で立ち上げたもので、同窓生の自著を受け入れるのが趣旨。専用の書棚を用意したが、現在は一杯になっている (宍戸)。
(八雲が丘文庫に関しては、<http://www.yagumokai.org/member/library.html> を参照願います)

以上